

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：医学系】

大 学 名	大阪大学	整理番号	F - 4
拠点のプログラム名称	フロンティアバイオデンティストリーの創生		
中核となる専攻等名	歯学研究科分子病態口腔科学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 米田 俊之 外20名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本拠点は、生物科学、医学、人間科学、食品科学、工学等にまたがる幅広い学問分野を融合させることにより、「口(くち)」のバイオサイエンス研究・教育の世界的拠点を打ち立て、創造性の高い歯科医学研究の遂行と、卓越した研究者と将来を担う若手研究者の輩出を目的とする。本拠点の創生により、我々は従来の歯科医療における人工物による機能・構造の回復への過剰な依存から脱皮し、生物科学に基づいた世界最高水準の歯科医学を構築し、それを基盤とする高度で患者に優しい歯科医療を開拓する。拠点の活動は、以下に関する研究に焦点を当てる。 1. 「口」の感染症(特に歯周病と虫歯)の発症機序とその制御 2. 歯および口・顎の発生と再生 3. 「口」の機能・構造・美の回復 4. 歯痛と味覚の機構 その際、競争原理に基づき、従来の学問的枠組みを超えたプロジェクト型重点組織を横断的に構築し、研究活動を推進する。これらの活動により、よりよく“いきる、たべる、くらす”の実現を目指す。また、このような本拠点の活動は急速に高騰する我が国の医療費抑制に寄与すると共に、関連産業の活性化にも貢献できると確信している。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>歯科医学および歯科医療の発展に不可欠な細胞生物学、分子生物学的側面の充実を計ることに加え、歯科医療面では、“口腔科学フロンティアセンター”を創設することによって、各研究者と臨床医との間にブレーン・ストーム会議を常置して、先端のライフサイエンスの理解と普及に尽くすなど世界最高水準の拠点形成が期待できる。</p>			